

# ライオンハート

「これを、渡して。あたしに。四十五、年、経ったら。  
あたしを、見つけて。きっと」

今回紹介する著書、『ライオンハート』は、一度読むと思わず読み返したくなる。そんな不思議な魅力にあふれた本だ。

まず、全5章からなる物語には、至る所に不可思議な要素がちりばめられている。章ごとに異なる時代、場所、登場人物。各話はまるで短編集のように分かれている。しかし、これらすべてはつながっており、1つの物語を構成している。

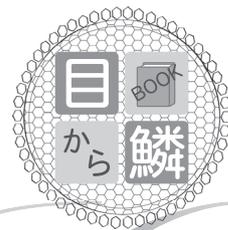
いったいこの物語の中で何が起きているのか？ 謎を解き明かす鍵となるのは、全章を通して登場する1組の男女、「エドワード」と「エリザベス」の存在だ。

「エドワード」と「エリザベス」は、各章ごとに年齢も、性格も、育った環境も違っている。だが、2人はどの時代でも出会い、それぞれの物語を紡ぎ出していく。青年の「エドワード」と少女の「エリザベス」がいれば、年老いた「エドワード」と「エリザベス」もいる。2人の正体はいったい何なのか——すべての謎は、最後に明らかになる。

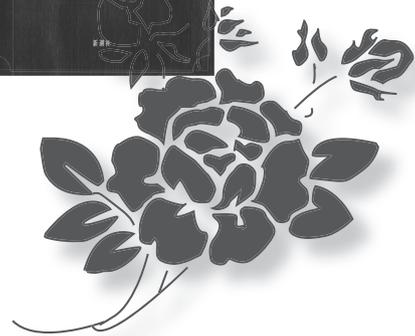
読み終わった後、すべての真相を知り物語を俯瞰する視点を手に入れた読者は、この物語を再度読み返したくてたまらなくなるだろう。もう一度読む『ライオンハート』はもっとおもしろくなるにちがいない——このことは、本著を一読した読者には容易に予想できるはずだ。1回目では手探りで読み進めていた文章や台詞が、2回目では理解できる。込められていた重要な意味に気づくことができる。そしてこれこそ、本著の最大の魅力だといえる。

この物語の魅力は、それだけではない。物語の謎がロンドンを中心にイギリス史と絡み合っている点や、全章タイトルに実在する絵画の題名が用いられている点にも、歴史や芸術に興味がある人はそそられるだろう。

時代を超えた壮大な物語。読者はいつの間にかその世界観に引き込まれていく。本書をぜひ読んでみてほしい。きっと、1度目で「読み返したくなる」魅力を、そして2度目では「物語を俯瞰する楽しさ」を感じられるだろう。(黒みつ)



『ライオンハート』  
恩田陸著  
新潮社  
定価：1,700円



プレゼントにぴったり!

## マシュマロクッキーサンド



### 材料 (5個分)

チョコチップクッキー 10枚

マシュマロ 5個

### 作り方

- ① 皿の上にチョコチップクッキーを並べ、そのうちの半数にマシュマロを1個ずつのせる。
- ② マシュマロが膨らむまでレンジで加熱し(10~20秒)、温かいうちに残りのクッキーを上のにせる。



はみだし  
すてーじ

意外とみてない  
⇒ええっ!! 私の周りでは大好評 (のはず) なのですが……

(農・3 Moulie)  
(このはみだしも見られていないのであろうか;編)